

内容	植物の手触りや色、形、大きさなどの違いを実際に観察し、植物の多様性を感じとる。
ねらい	<ul style="list-style-type: none"> ・いろいろな感覚を使って自然を感じたり、観察したりする。 ・植物には違いがあり、それぞれが特徴をもっていることに気づく。 ・身近な自然を通して、人間は自然と深く関わって生きていることに気づく。
学習効果	観察を通して自然に対する興味・関心を高め、自然を大切にする心を養う。
関連教科	理科、総合的な学習
対象学年	小学校3～6年生
対象人数	一度にできるのは1クラス(40人)まで。 2クラス以上ある場合は、クラスごとに時間を変えて行なう。
場所	何種類かの樹木がある校庭や公園、里山の公園
時期	春～秋
進め方	<ol style="list-style-type: none"> 1. アイスブレイク(緊張をほぐす活動) 後出しジャンケンや、目を閉じて音を聞いたり、風や光を感じたりするなどの簡単な活動 2. 箱の中のものは何? 樹木の葉を入れた中の見えない箱を用意する。その中に手を入れ、手で触った感触を頼りに、同じ植物の葉を探してくる。 答え合わせの時に、その植物について、簡単に説明する。 3. 同じ色探し 二人に1枚、またはグループに1枚、色紙を配布し、その色紙に限りなく近い色の自然物を探してくる。見つけたものと色紙を並べて置いて、みんなで見比べる。 4. 葉っぱじゃんけん グループで10種類の葉を1枚ずつ採ってくる。 2グループの対抗で、葉っぱを使ったジャンケンを行う。 葉っぱジャンケンは、「大きな葉っぱ」「毛がいつぱいの葉っぱ」などのお題を出して、グループごとにそのお題に一番近い葉っぱを相手のグループに見せる。どちらのグループの葉がお題に近いかで、勝ち・負け・引き分けが決まる。 5. まとめ いろいろな感覚を使って、自然を感じよう。植物はそれぞれが様々な特徴を持ち、人間はそれを利用したり、恩恵を受けたりしている。 <p>※時間が短ければ、3を削ることも可能。</p>

ポイント	<ul style="list-style-type: none"> ・観る・聴く・触れるなどのいろいろな感覚を使ったり、さまざまな角度から観察したりする。 ・わずかな違いにも注意を払う。 ・ペアやグループでよく相談する。
道具・材料	<ul style="list-style-type: none"> ・手を入れられる中の見えない箱 ・いろいろな色の紙 ・探ってきたものを置くための白い大きな紙(模造紙等)か布
所要時間	45～90分
経費	講師料 無料 交通費 無料
森のせんせい 氏名・団体名	三重県環境学習情報センター
住所	四日市市桜町3684-11
連絡先	TEL 059-329-2000 FAX 059-329-2909 Email info@eco-mie.com

箱の中に手を入れて、手の感触と同じ葉を探す。



見つけてきた同じ色の自然物を並べる。



葉っぱジャンケンで比べ合い

